

社会民主主義 フォーラム青森 通信

NO.32 2024年 2月20日
フォーラム青森
〒030-0802
青森市本町3丁目3番11号
青森県平和労組会議気付
forum-ao2021@outlook.jp
080-5413-2848 (事務所専用 TEL)

地道な運動で組織をつくり上げよう



あいさつする田名部代表

第4回立憲民主党青森県総支部連合会(県連)定期大会が、2月18日にアップルパレス青森で開催された。大会議長には、赤平弘前市議が選任され開催されました。当日は、50名程が参加し経過から方針・予算が提案され、立憲本部定期大会で承認された事案として「暫定支部」の扱いについて財政措置も行われることが報告された。これまでに「暫定支部」とは、他支部長が支部長のいない支部長を兼ねている支部を「暫定支部」としていた。このことから「地域支部」とリンクするのか、また位置づけについては明確になっていない。

大会では、大きくは①解散総選挙に向け、野党共闘についての考えについて②立憲の支持率を高めるための対策についての2点について質問・意見が出された。まず「支持率を高めるためには地道な運動を進めることが大事である。期待に添えていない点もあることから、県民に訴える活動を進めていきたい。そのため、全国的に多くの候補者に擁立(現在、170名余)を進めている。」また、前回総選挙で「立憲共産党」と揶揄され、それに対する反論をしてきたのかなどの質問もあり「野党共闘については共通する政策で共闘を作っていきたい。」等の答弁がなされた。

総会後、立憲セミナーとして「ライドシェア」について江良實全自交中央本部執行委員から講演を受け終了した。
フォーラム会員の総会総会出席者は14人だった。
(斎藤憲雄)

変化を感じた

立憲の議案書を読んだ。まだまだだやり切れていないことはあるものの、変化を感じた。
県内の党員数の推移が報告されていた。
昨年2023年は151名が登録(一昨年は163名で12名の減)。
協力党员(サポーターズ)は同じく1347名(一昨年は1341名で6名増)。
パートナーズは2名(一昨年はゼロ)。
ということで、目標の1600

名には届かなかったが1500名が登録されているとのこと。1区、2区、3区の総支部ごとの市町村別に支部が設置されているところ、未設置のところに分かる。
支部長や議員の名簿。まだまだ空欄のところも目立つが、今まで意見反映してきた結果かもしれない。
第2区総支部は衆議院候補者が決まっていなくて、支部長は空席。日常活動はやっているのか(いないのか)分らない。
三八支部の支部長が総支部長代行兼務で出来ないものか、立憲の中で、謙虚に意見反映していきたい。
(佐藤康弘)

今後の予定

- <2月>
23日 社民フォーラム第4回総会(東京)
- <3月>
2日 フォーラム青森第4回総会
(昨年は選挙の関係で、7月9日に第3回総会を開催しました。しかし、フォーラム青森の会計年度は1月1日~12月31日であり、本来の日程に戻すということで、この日程となりました。)
10日 原水禁青森県民会議総会(青森・労福)
10日 さようなら原発核燃3・11 青森集会
12:30~ 青森市民ホール
16日 原水禁福島県民大集会(福島)
20日 さようなら原発全国集会(東京)
23日 さようなら原発宮城集会(仙台)
- <4月>
6日 4・9反核燃の日全国集会
(青森市民会館)
※平和憲法意見広告の取り組みもあります。

3月2日 第4回フォーラム青森定期総会を開催します



大竹医師（左奥）の講演と意見交換を行った議員団

第2回フォーラム青森議員団勉強会

事務局長 原子秀夫

フォーラム青森議員団会議は、2月18日ハートピアローフクで第2回勉強会を開催しました。勉強会にはフォーラム青森所属議員7名のほか、オブザーバーとして立憲の敦賀谷県議、小笠原県議、岡田華子第3区総支部長、小熊社民党市議を含め15名が参加しました。

今回のテーマは、「青森県と青森・下北の医療」と題して整形外科医の大竹医師を講師に講演と意見交換が行われました。

大竹医師は、本年4月から医師の働き方改革がスタートし従事する医師は時間外・休日労働時間の上限が厳格化される。このため、医師不足が懸念されているが、青森県は、全国と比較しても10万人当たりの医師数は212.5人となっており、「医師は着実に増えている」と公表している。しかし、専門医制度の下で専門医不足が研修医の県内定着を減少させ、さらに高齢医師のリタイアが着実に進むため、今後10年間で医師不足はさらに深刻化すると予測しています。

私たちが普段あまり耳にすることのない医療現場の実態を赤裸々に話してくださり、議員から多くの質問が寄せられ意義深い勉強会になりました。

なお、次回の勉強会は農林水産業の問題について5月中旬に開催することを確認して終了しました。

第3回フォーラム青森幹事会

事務局長 原子秀夫

フォーラム青森は、2月17日沖舘市民センターで第3回幹事会を開催しました。幹事会では経過報告のほか第4回定期総会議案審議、今後のフォーラム青森のあり方、全国総会参加者について論議・確認しました。

特に、現在のフォーラム青森の厳しい財政事情、今後の展望などを含め、今後の組織のあり方について定期総会を起点に検討していくことを確認しました。各支部においては、3月2日開催の定期総会に積極的に代表者を参加させていただき、積極的な論議を展開していただくよう要請します。

【フォーラム青森の今後のあり方】（議案書から）

フォーラム青森は創設から3年が経過しました。これまで、立憲民主党に移行した党員と社民党を離党した会員、さらに新たに入会した会員で構成していますが、会員拡大が目標通り進んでいないことに加え、各支部の運営費・共闘組織分担金・事務局維持費など支出額を削減できない状態に陥っています。このため、財政難が大きな課題となっています。

一方で、立憲民主党青森県連合との事務局レベル協議は順調に行われています。また、立憲県連合幹事会においても組織運営や党員に開示すべき活動などについて意見反映してきました。これに対して立憲青森県連合は真摯に対応する姿勢にあり、私たちとの関係は良好な状況にあります。

しかし、選挙対応は相変わらず候補者の後援会頼みから脱却出来ず、党員や労働組合の応援を得た選挙活動は極めて限定的です。これでは、党勢拡大もなかなか進まないのではないのでしょうか。また、この課題は濃淡があるにせよ全国的な傾向です。私たちは、フォーラム青森という組織だけで問題を共有しても根本的な解決・改善に繋がらないのではないのでしょうか。

反核・平和、護憲、反原発運動などに参加するための組織としてフォーラム青森を創設した意義を維持しつつも立憲民主党青森県連合に融合する時期を模索する必要もあるのではないかと思います。

今後のフォーラム青森のあり方について、一年間の検討課題として論議することについてご提案します。

社会民主主義フォーラム青森第四回定期総会の開催について

- | | | |
|---------------|---|------------------------------|
| 1、日 | 時 | 2024年3月2日（土）13:00～15:00 |
| 2、場 | 所 | アピオ青森 2F 大研修室2 |
| 3、議 | 題 | 経過報告、会計報告、活動方針（案）及び予算（案） |
| 4、各支部代表（役員以外） | | 青森（10）八戸（5）十和田（5）下北（2）つがる（2） |